

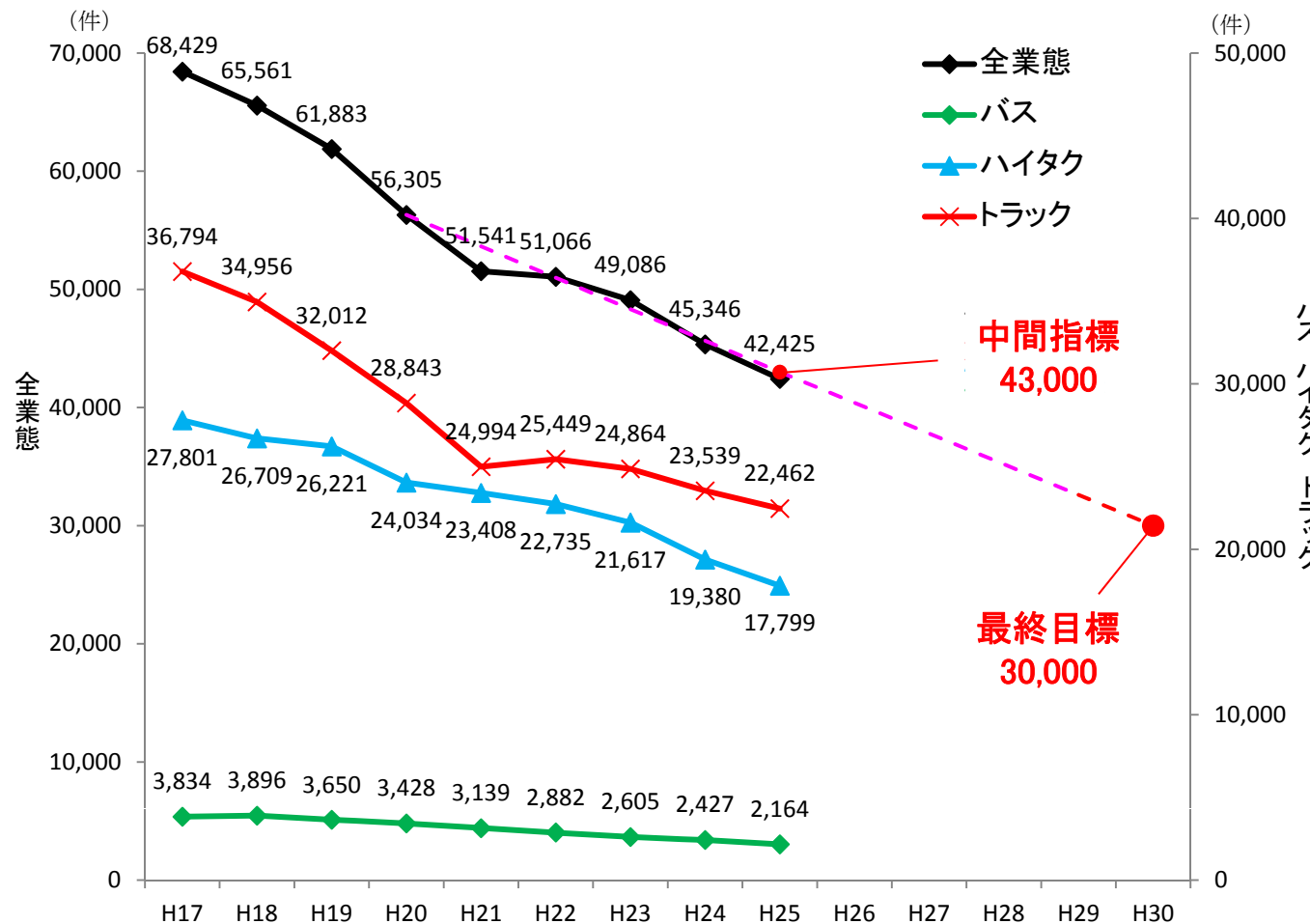
# 事業用自動車の交通事故発生状況

～これまでの事故件数の推移と平成25年の事故の特徴～

# 我が国における事業用自動車の人身事故の発生状況

- プラン期間中一貫して減少を続け、平成25年には42,425件となり中間指標(43,000件)を達成。
- 一方、トラックにおける減少率は他業界と比較し、若干の鈍化傾向が見られる。

## 事業用自動車の人身事故件数の推移



## 事業用自動車の人身事故指数の推移

(平成20年=100)

	全業態	バス	ハイタク	トラック
H17	122	112	116	128
H18	116	114	111	121
H19	110	106	109	111
H20	100	100	100	100
H21	92	92	97	87
H22	91	84	95	88
H23	87	76	90	86
H24	81	71	81	82
H25	75	63	74	78
∫	∫	∫	∫	∫
H30	(50)	(50)	(50)	(50)

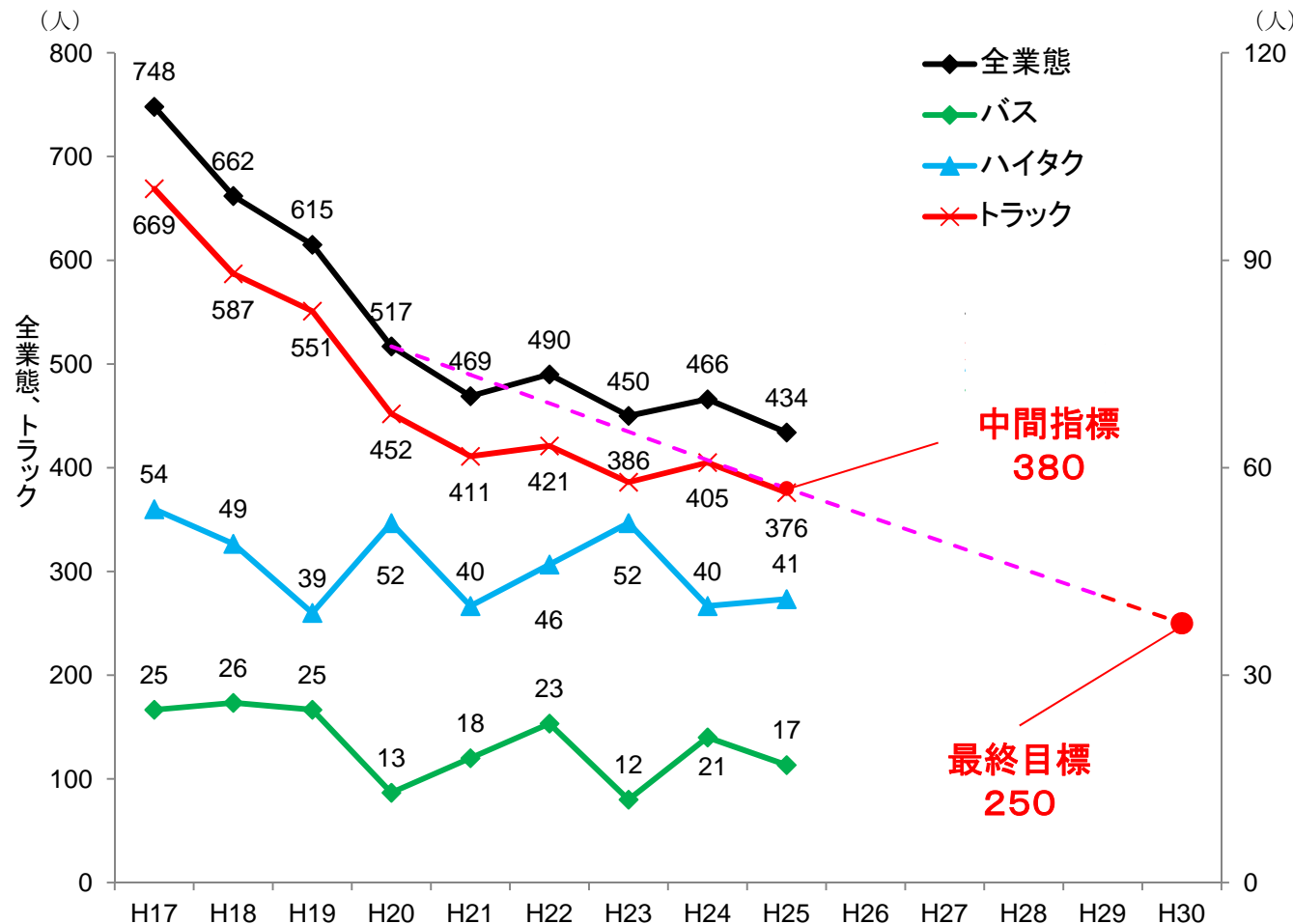
※H30は目標値

注) (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」より作成

# 我が国における事業用自動車の交通事故死亡者数の状況

- 平成22年、24年に増加に転じるなどし、平成25年は434人となり**中間指標(380人)**を達成できず。
- **バス**においては**平成20年比で増加**しており、**トラック**による交通事故死亡者数はいまだ**事業用自動車の交通事故死亡者数の85%以上**を占めている。

## 事業用自動車の交通事故死亡者数の推移



## 事業用自動車の死亡者数指数の推移

(平成20年=100)

	全業態	バス	ハイタク	トラック
H17	145	192	104	148
H18	128	200	94	130
H19	119	192	75	122
H20	100	100	100	100
H21	91	138	77	91
H22	95	177	88	93
H23	87	92	100	85
H24	90	162	77	90
H25	84	131	79	83
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
H30	(50)	(50)	(50)	(50)

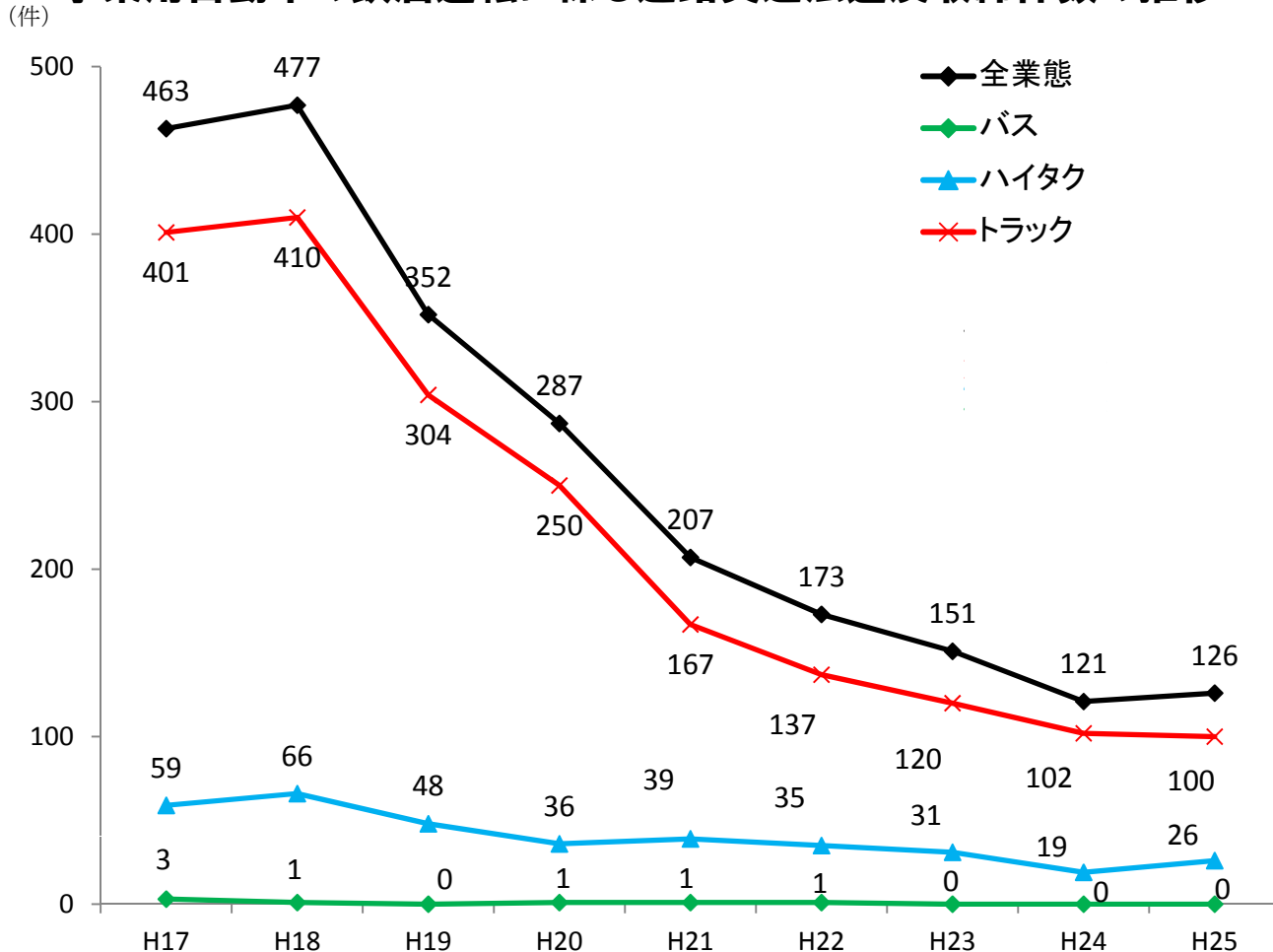
※H30は目標値

注) (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」より作成

# 我が国における事業用自動車運転者による飲酒運転の状況

- 着実に減少し平成25年には平成20年の半数以下になったものの、いまだ126件発生している。
- 特に、ハイタクにおいては、平成25年は前年比+7件と、増加に転じた。

## 事業用自動車の飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数の推移



注) 警察庁「交通事故統計」より作成 ※バスについては、国土交通省にて把握している事案のみ

## 事業用自動車の飲酒運転指数の推移

(平成20年=100)

	全業態	バス	ハイタク	トラック
H17	161	300	164	160
H18	166	100	183	164
H19	123	0	133	122
H20	100	100	100	100
H21	72	100	108	67
H22	60	100	97	55
H23	53	0	86	48
H24	42	0	53	41
H25	44	0	72	40
∫	∫	∫	∫	∫
H30	(0)	(0)	(0)	(0)

※H30は目標値

## バス

## ハイタク

## トラック

### 交通事故

- ◆ **車内事故**が最も多く全体の27.4%  
(特に乗合バス)
  - ・ **約4.2%**が**発進時**の事故となる
  - ・ 第一通行帯走行時の事故が多い
  - ・ **過半数以上が高齢者**(65歳以上)
  - ・ 負傷者数は**女性が男性の約4倍**
- ◆ 次に**追突事故**が多く全体の16.0%  
(特に貸切バス)
  - ・ 第一通行帯走行時の事故が多い
  - ・ **2月、7~8月、11月の時期**に事故が多い
  - ・ 8~10時、14~16時の時間帯に事故が多い

- ◆ **出会い頭**が最も多く全体の22.6%
  - ・ 交差点内での出会い頭事故が多く、  
出会い頭事故の85.1%を占める
- ◆ 次に**追突事故**が多く全体の10.1%
  - ・ 第一通行帯走行時の追突事故が多く、  
追突事故の48.8%を占める
- ◆ **空車時における事故**が、全体の**約3/4**となる
- ◆ **市街地での事故**が多く、**9割以上**を占める

- ◆ **追突事故**が最も多く全体の**48.4%**
  - ・ 6~18時の**昼の時間**での事故が多く、  
全体の**約3/4**を占める。ピークは  
10~12時。
  - ・ **10km/h以下の低速での事故が最も  
多く**、次いで30~50km/hの中速で  
の事故が多い傾向にある
  - ・ 第一通行帯での追突事故が多い
- ◆ **交差点内での出会い頭**も多く発生  
しており、全体の10.9%

### 死亡事故

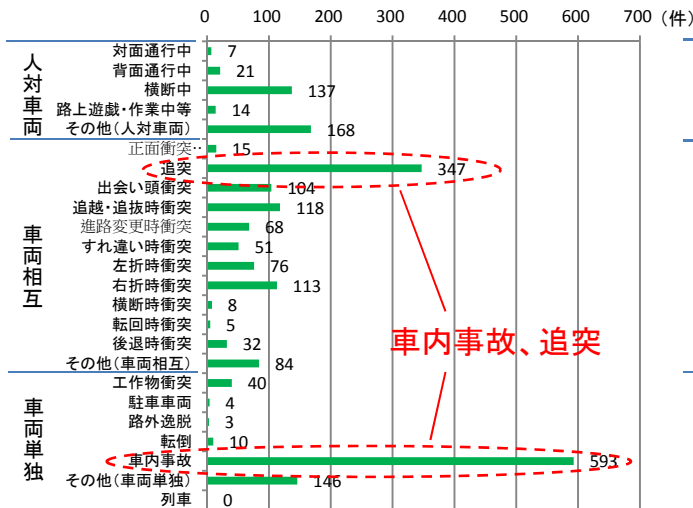
- ◆ **人との接触事故**では、発生地点と  
しては**交差点内が最も多く**、8件発  
生(全体の47.0%)
- ◆ 行動別で見ると**発進、直進(等速)  
時の事故**が多く、7件発生

- ◆ **歩行者等が道路を横断中**、または、  
**路上横臥者の轢過**による事故が最  
も多く、各々12件発生(各々全体の  
**30.0%**)
- ◆ **人との接触事故**では、発生地点とし  
ては**交差点内での事故**、または、**第  
一通行帯が最も多く**、各々10件発生  
(各々全体の25.0%)

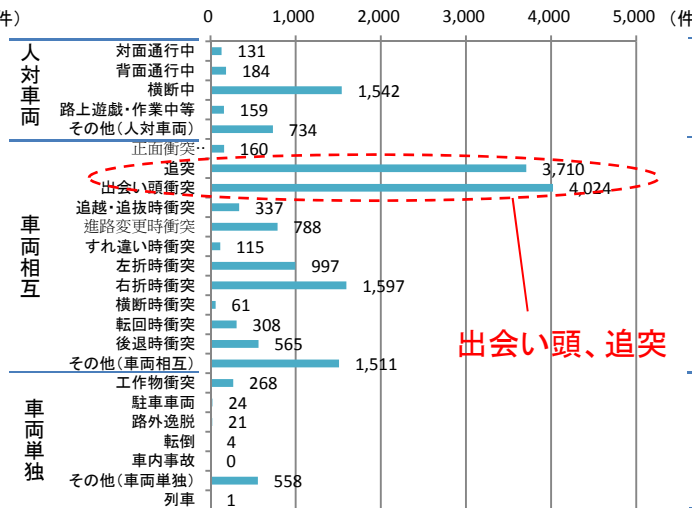
- ◆ **歩行者等が横断中**に発生した事故  
が最も多く全体の**24.3%**
- ◆ 次に**追突事故**が多く全体の**20.1%**
  - ・ 0~6時の**深夜~明け方**の時間帯での  
事故が多く、**過半数**を占める
  - ・ 中速及び高速での事故が多い
- ◆ **人との接触事故**では、発生地点と  
しては**第一通行帯が最も多く**67件  
となり、次に**交差点内**での事故が  
48件となる

# 業態別の事故類型詳細区分別事故内容別件数（H25）

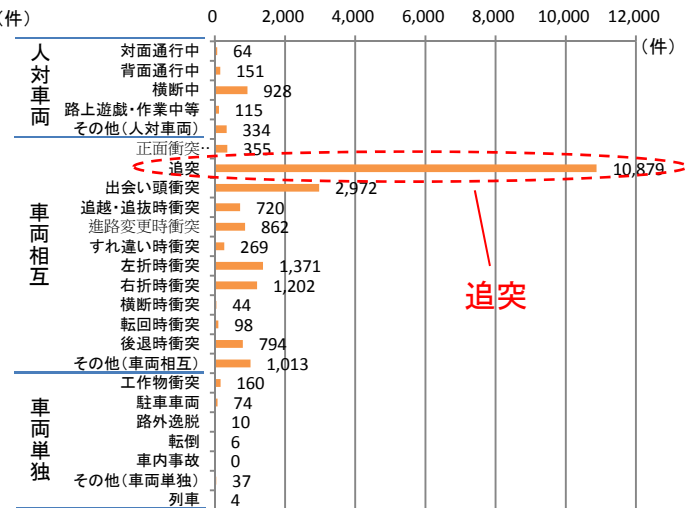
- 平成25年中に発生した事業用自動車の交通事故について、**バスでは車内事故が最も多く全体の27.4%、ハイタクでは出会い頭事故が最も多く全体の22.6%、トラックでは追突事故が最も多く全体の48.4%**を占める。
- 死亡事故については、**バスでは歩行者が横断中に発生する事故が最も多く全体の47.0%、ハイタクでは歩行者が横断中に発生する事故が最も多く全体の30.0%、トラックでは歩行者横断中の事故が最も多く全体の24.3%**となっている。



バスの事故類型詳細区分別事故内容別件数(H25)



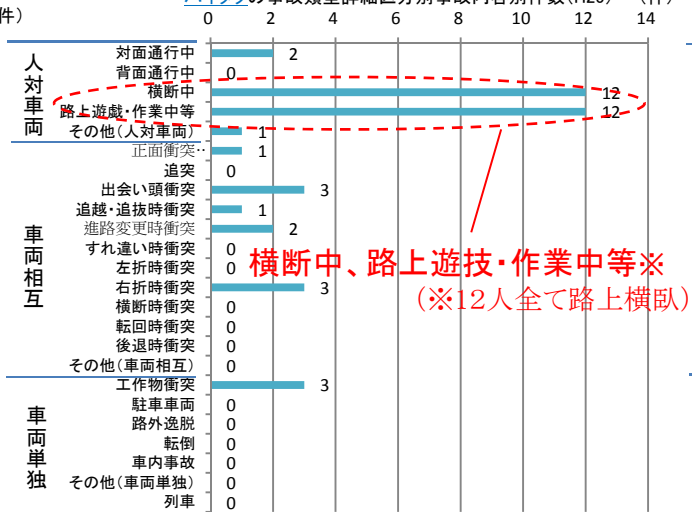
ハイタクの事故類型詳細区分別事故内容別件数(H25) (件)



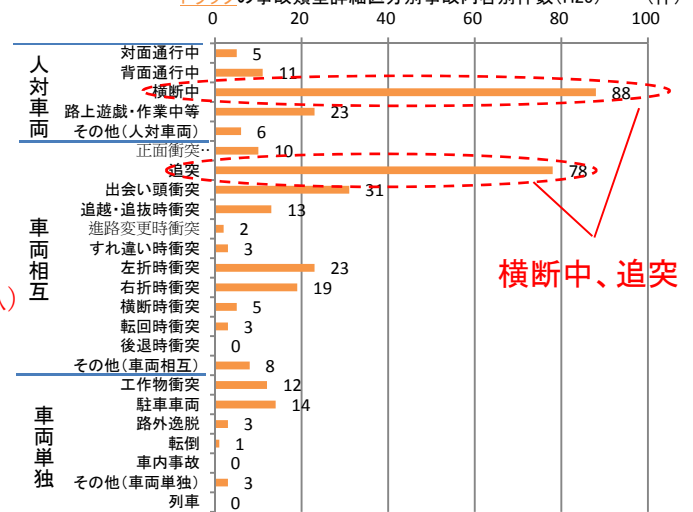
トラックの事故類型詳細区分別事故内容別件数(H25) (件)



バスの事故類型詳細区分別死亡事故内容別件数(H25)



ハイタクの事故類型詳細区分別死亡事故内容別件数(H25)



トラックの事故類型詳細区分別死亡事故内容別件数(H25)

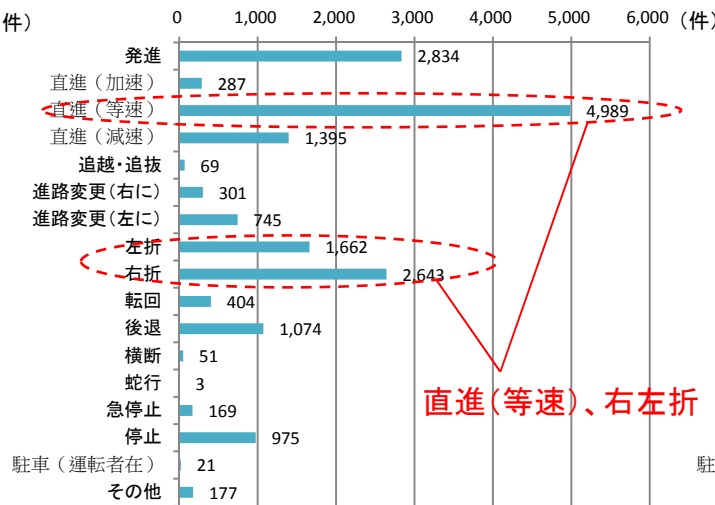
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計(平成25年度版)」

# 業態別の行動別事故件数（H25）

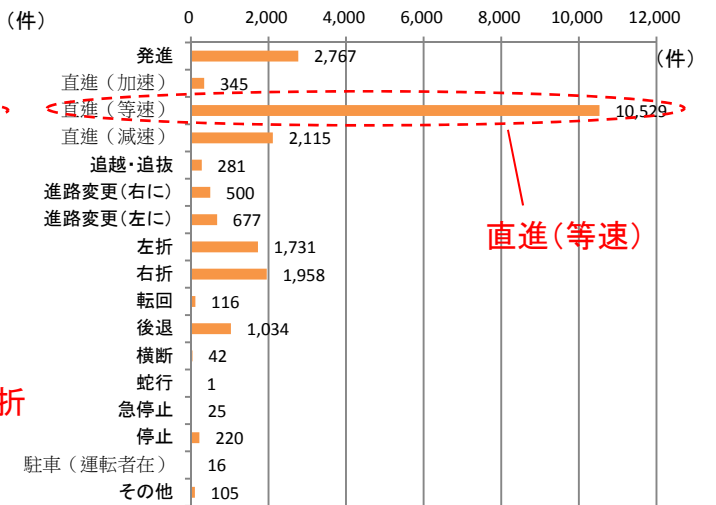
- 平成25年中に発生した事業用自動車の交通事故について、いずれの業態も直進（等速）時の事故が最も多く、バスでは全体の26.6%、ハイタクでは28.0%、トラックでは46.8%を占める。その他、バスでは発進時の事故、ハイタクでは右左折時の事故が他業態と比べて割合が高くなっている。
- 死亡事故については、バスでは発進時及び直進（等速）時の事故が最も多く各々全体の29.4%、ハイタク及びトラックでは直進（等速）時の事故が最も多く各々全体の77.5%（ハイタク）、68.9%（トラック）となっている。



バスの行動別事故件数（H25）



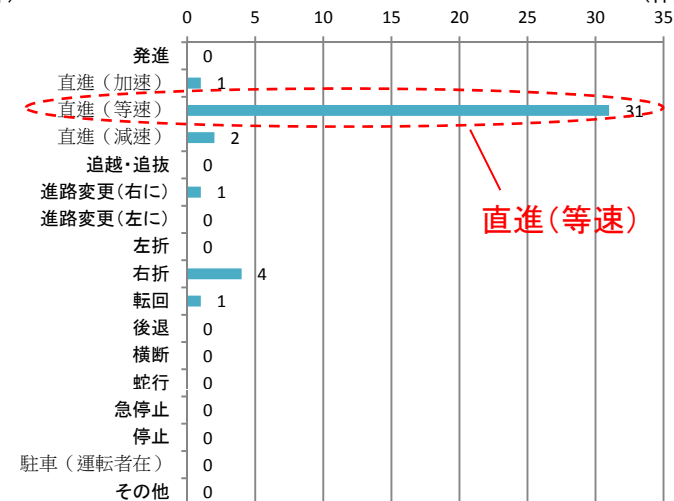
ハイタクの行動別事故件数（H25）



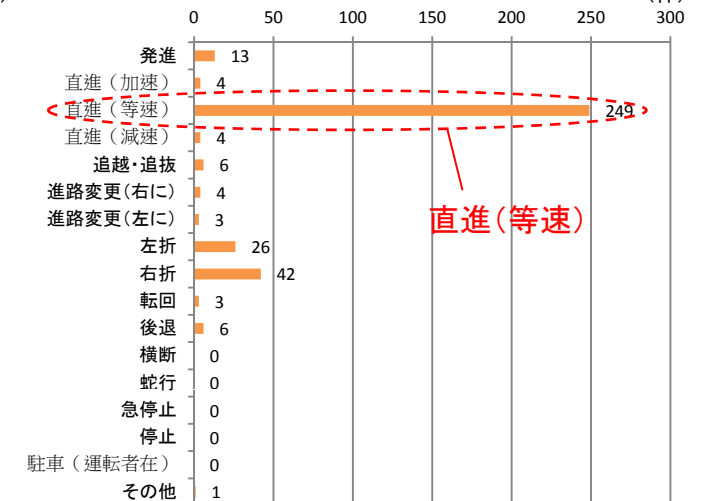
トラックの行動別事故件数（H25）



バスの行動別死亡事故件数（H25）



ハイタクの行動別死亡事故件数（H25）

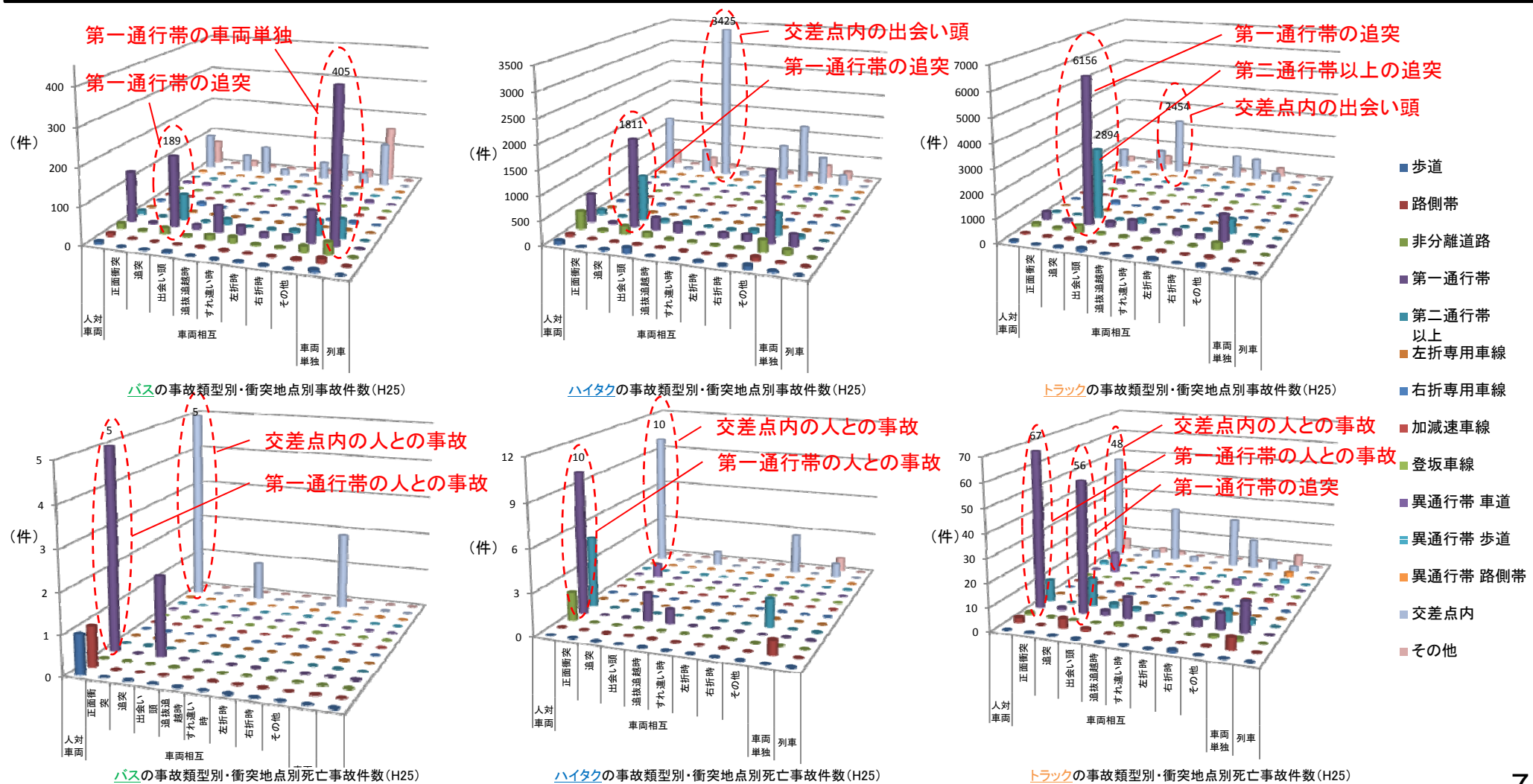


トラックの行動別死亡事故件数（H25）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計（平成25年度版）」

# 業態別の事故類型別・衝突地点別事故件数（H25）

- 平成25年中に発生した事業用自動車の交通事故について、バスでは第一通行帯の車両単独事故が最も多く全体の18.7%、ハイタクでは交差点内での出会い頭事故が最も多く全体の19.2%、トラックでは第一通行帯の追突事故が最も多く全体の27.4%。
- 死亡事故については、バスは交差点内及び第一通行帯での人との事故が最も多く各々全体の29.4%、ハイタクは交差点内及び第一通行帯での人との事故が最も多く全体の25.0%、トラックは第一通行帯での人との事故が最も多く全体の18.5%であった。



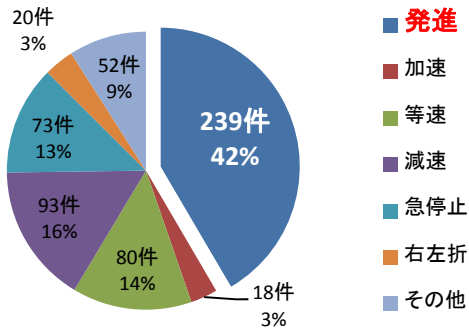
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計(平成25年度版)」



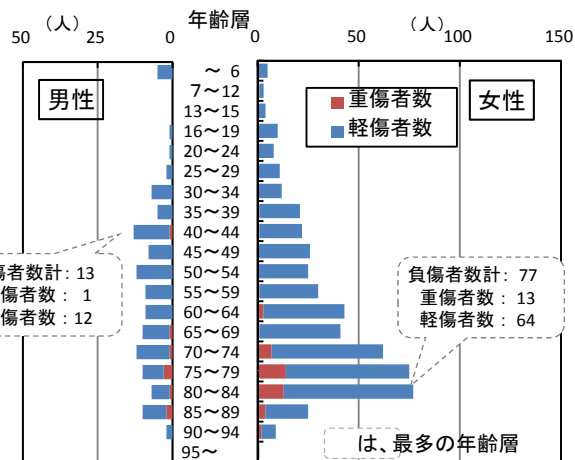
# バスの詳細事故分析 (H25)

- **乗合バス**における**車内事故**のうち、**約42%が発進時**の事故である。また、車内事故による負傷者の**過半数が65歳以上の高齢者**であり、男性と女性の負傷者数を比べると、**女性が男性の約4倍**である。
- **貸切バス**における事故類型別事故件数では、**追突事故が最も多く全体の37%**となる。平成25年の月別の事故件数を見ると**2月、7~8月、11月が多く**、時間帯別では**8~10、14~16時が最も多い**。

## 乗合バス

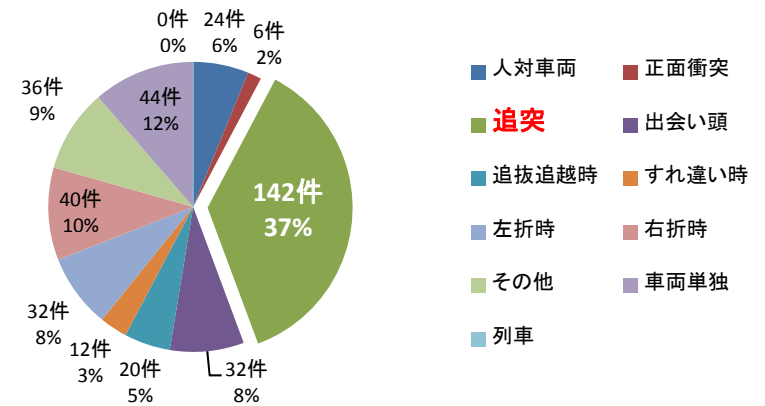


行動類型別乗合バスの車内事故件数・構成比 (H25)

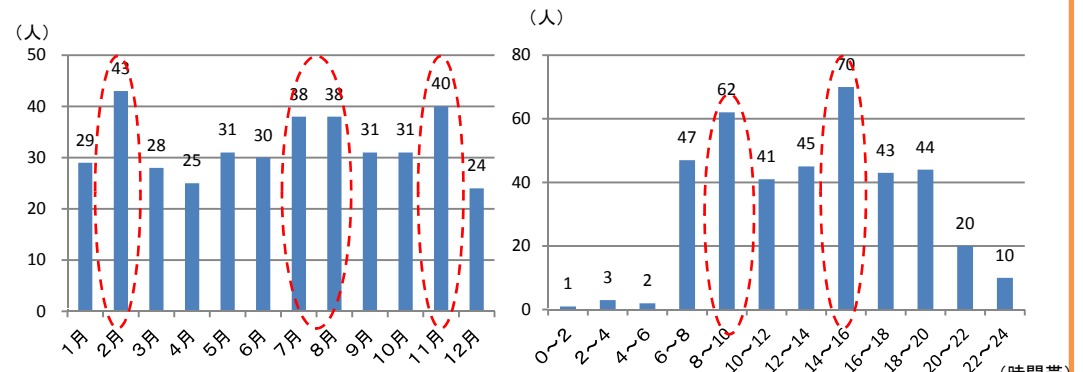


乗合バスの車内事故による男女年齢層別負傷者数 (H25)

## 貸切バス



貸切バスの事故類型別事故件数・構成比 (H25)

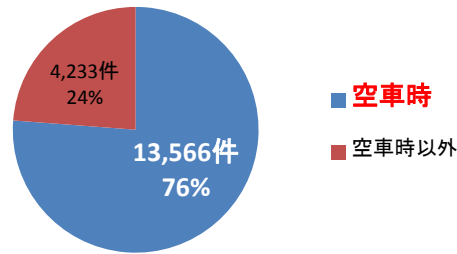


貸切バスの月別事故件数 (H25年)

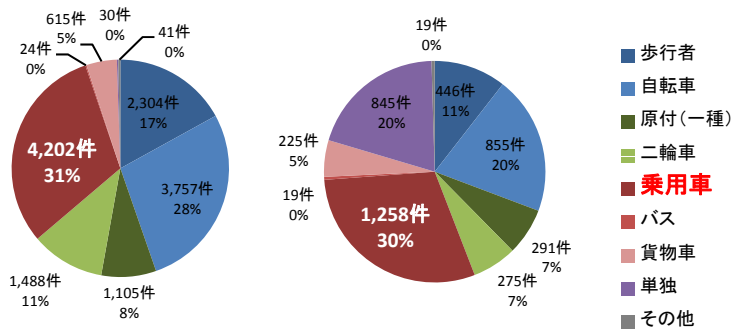
貸切バスの時間帯別事故件数 (H25年)

# ハイタクの詳細事故分析 (H25)

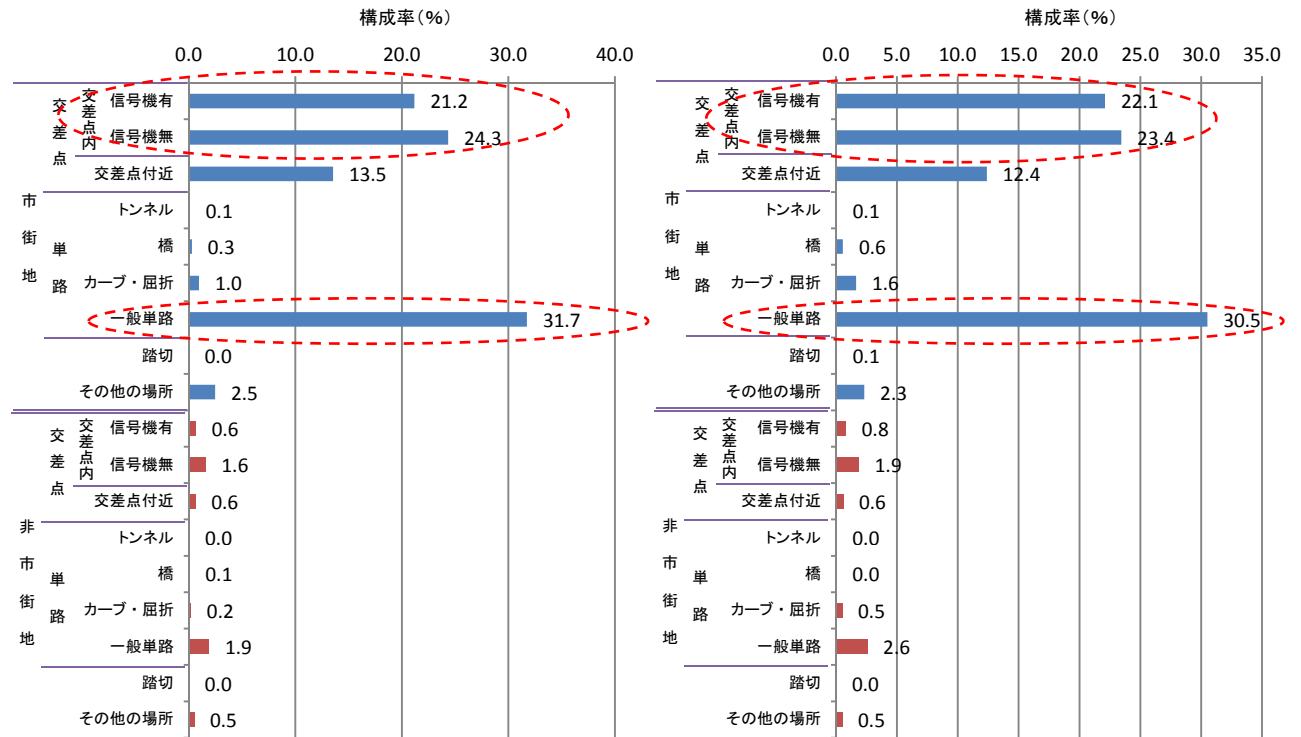
- 平成25年中に発生したハイヤー・タクシーの事故について、**空車時の事故が空車時以外に比べ約3倍発生。**
- 事故の**相手当事者別**では、**空車時では乗用車が最も多く全体の31%**、次いで自転車28%、歩行者17%である。**空車時以外では乗用車が最も多く全体の30%**、次いで自転車20%、単独事故20%となっている。
- 地形別・道路形状別事故件数を見ると、**空車時・空車時以外ともに全事故の9割以上が市街地**で発生している。



ハイタクの空車時と空車時以外の事故の割合 (H25)



ハイタクの事故の相手方の割合 (H25) (左:空車時、右:空車時以外)

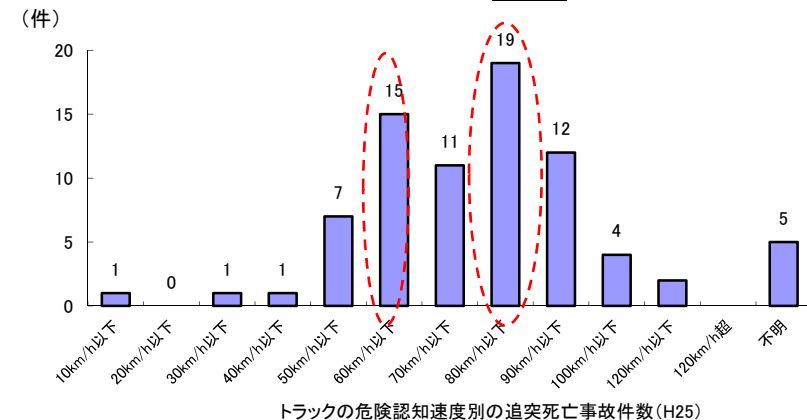
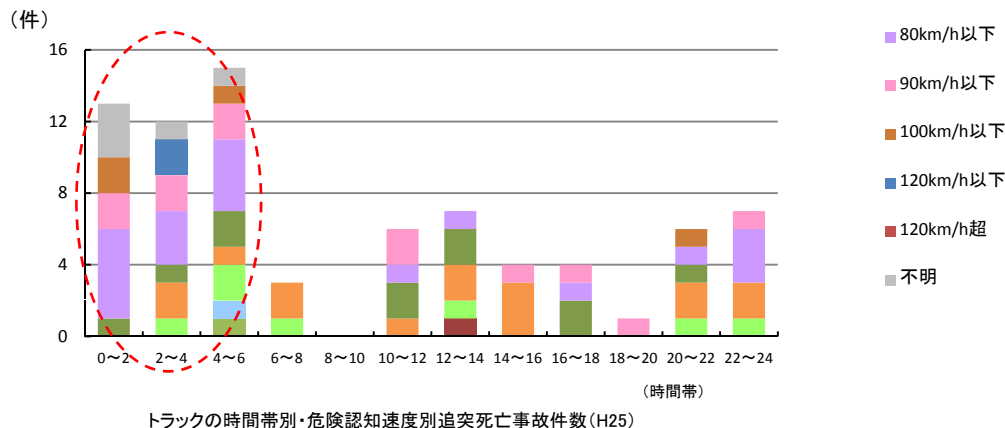
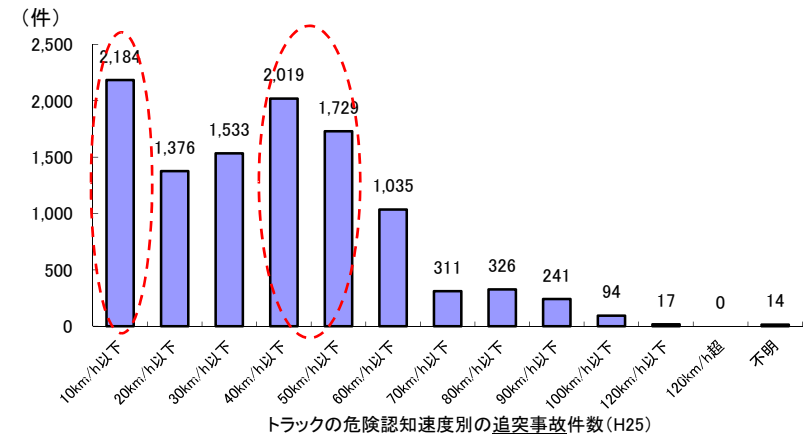
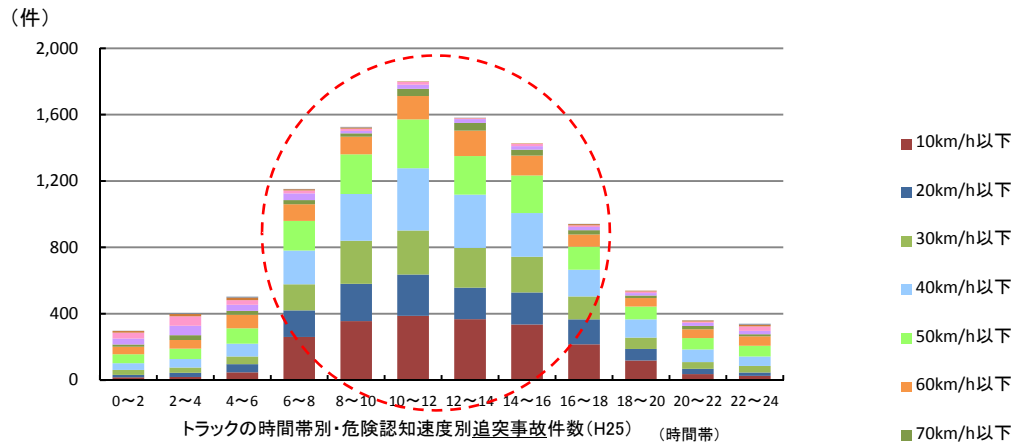


ハイタクの地形別・道路別形状別事故件数の構成率 (H25) (左:空車時、右:空車時以外)

出典: (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計(平成25年度版)」

# トラックの詳細事故分析（H25）

- 平成25年に発生したトラックの追突事故は、6～18時の昼の時間帯での事故が多く3／4以上を占めており、10～12時がピークとなっている。危険認知速度では、10km/h以下の低速及び30km/h～50km/hの中速が多くなっている。
- 死亡事故では、0～6時の深夜・明け方の時間帯での事故が多く、全死亡事故の過半数を占めている。また、ピークは4～6時となっている。危険認知速度では、50～60km/hの中速及び70km/h～80km/hの高速が多くなり、全体的に危険認知速度は高い。



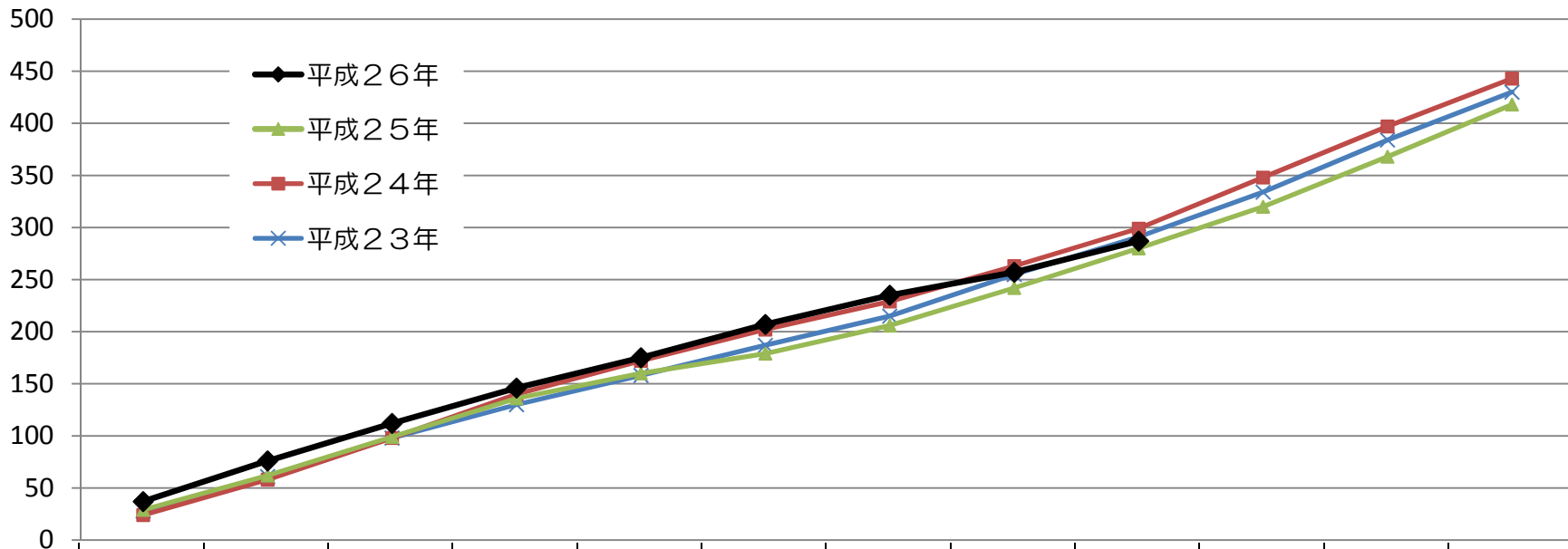
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計(平成25年度版)」

# 平成26年9月末現在の事業用自動車における死亡事故件数

○ 平成26年1月～9月末時点で、事業用自動車が第一当事者となる死亡事故件数は287件となり、**前年同時期と比べ7件増加**している。

(件)

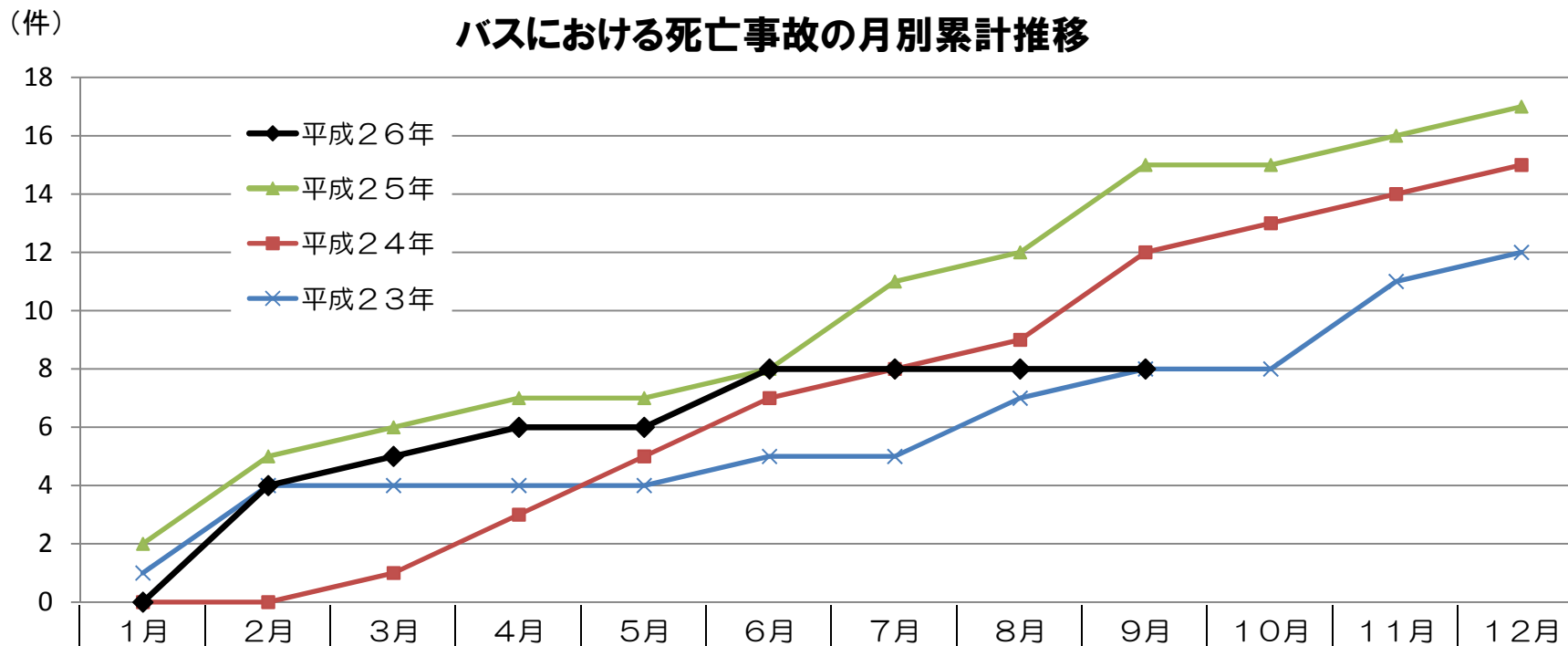
### 事業用自動車における死亡事故の月別累計推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年	37	76	112	146	175	207	235	257	287			
平成25年	29	62	99	136	160	179	206	242	280	320	368	418
平成24年	24	58	98	140	172	202	229	263	299	348	397	443
平成23年	28	61	98	130	158	187	215	255	291	334	384	430

# 平成26年9月末現在のバスにおける死亡事故件数

○ 平成26年1月～9月末時点で、バスが第一当事者となる死亡事故件数は8件となり、  
前年同時期と比べ7件減少している。

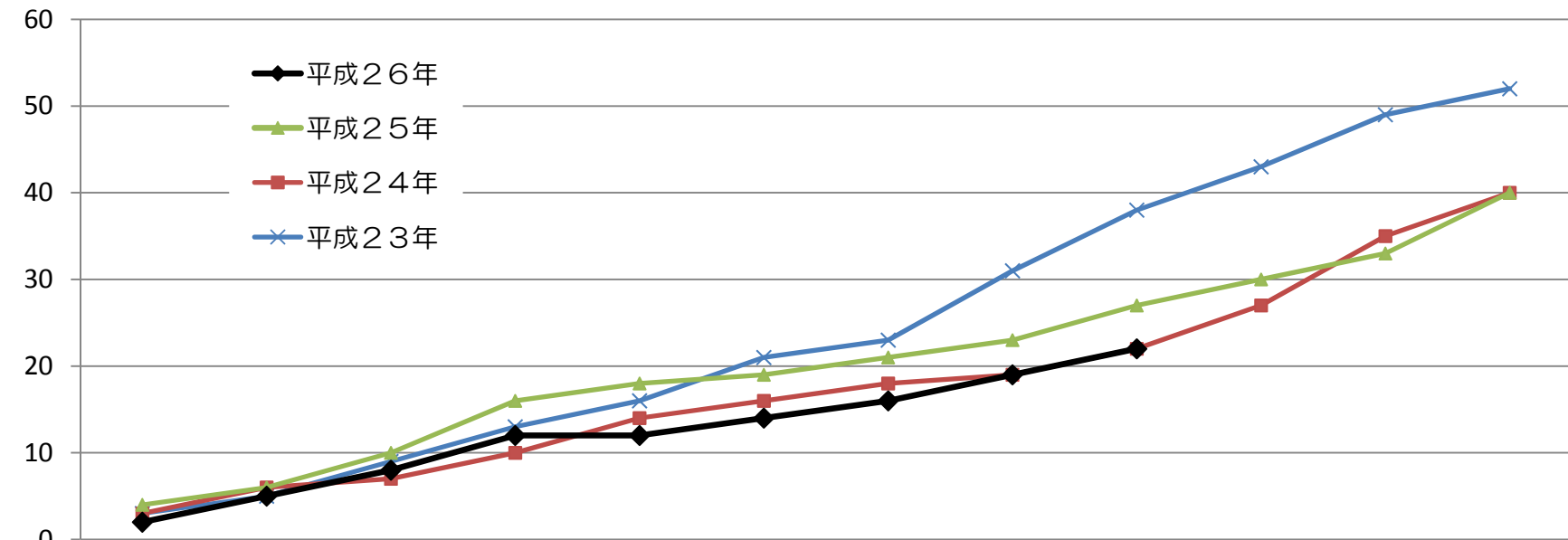


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年	0	4	5	6	6	8	8	8	8			
平成25年	2	5	6	7	7	8	11	12	15	15	16	17
平成24年	0	0	1	3	5	7	8	9	12	13	14	15
平成23年	1	4	4	4	4	5	5	7	8	8	11	12

# 平成26年9月末現在のハイ・タクにおける死亡事故件数

○ 平成26年1月～9月末時点で、ハイ・タクが第一当事者となる死亡事故件数は22件となり、  
前年同時期と比べ5件減少している。

ハイ・タクにおける死亡事故の月別累計推移

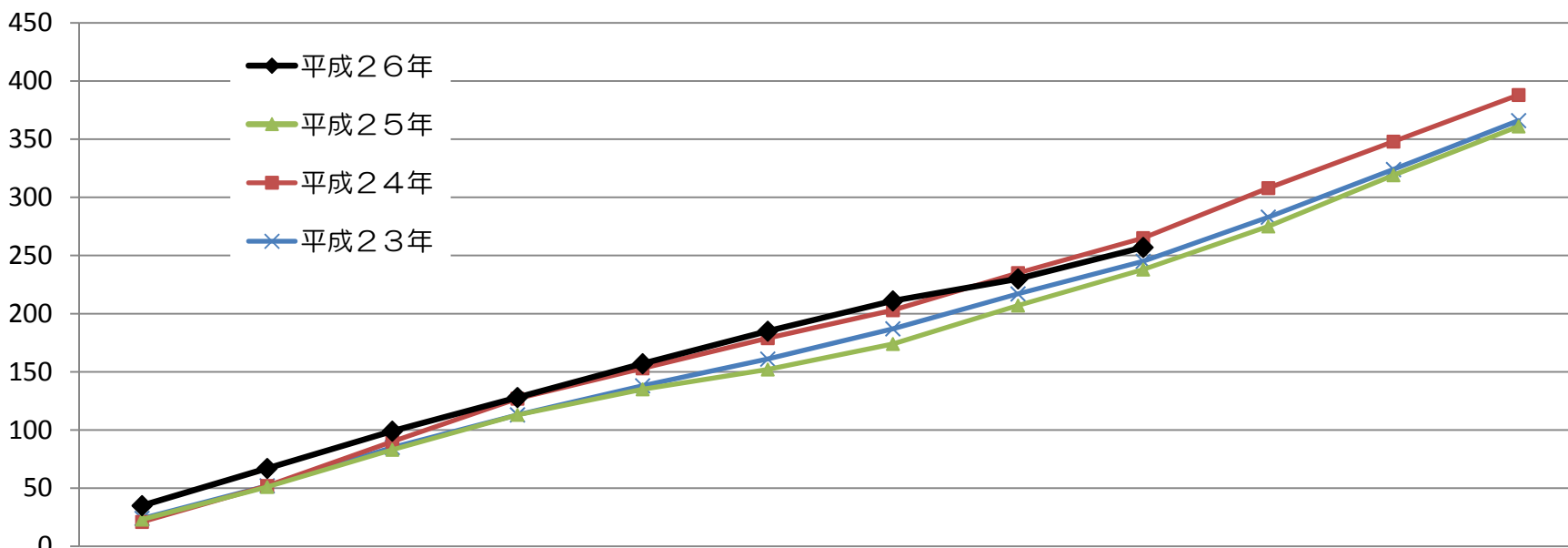


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年	2	5	8	12	12	14	16	19	22			
平成25年	4	6	10	16	18	19	21	23	27	30	33	40
平成24年	3	6	7	10	14	16	18	19	22	27	35	40
平成23年	3	5	9	13	16	21	23	31	38	43	49	52

# 平成26年9月末現在のトラックにおける死亡事故件数

○ 平成26年1月～9月末時点で、トラックが第一当事者となる死亡事故件数は257件となり、  
前年同時期と比べ19件増加している。

（件）  
**トラックにおける死亡事故の月別累計推移**



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年	35	76	112	146	157	185	211	230	257			
平成25年	23	62	99	136	135	152	174	207	238	275	319	361
平成24年	21	58	98	140	153	179	203	235	265	308	348	388
平成23年	24	61	98	130	138	161	187	217	245	283	324	366